

交通対策調査特別委員会

調査報告



鹿児島交通の路線バス

岩崎コーポレーションより、九州運輸局に提出された赤字バス路線廃止届けにより、バス利用の市民に大きな影響を及ぼすということで、議会に特別委員会を設置、7・8・9月各1回委員会を開き、路線廃止の現状と対策を検討しました。経過として、関係市町との

協議や県の路線確保対策部会・大隅地域バス対策協議会路線確保対策部会、あるいは岩崎コーポレーションとの協議等の説明を受けてきました。そして、代替バス運行計画が、路線廃止にともなう4系統14便、高校など通学にともなう7系統9便の計23便が出されており

乗合タクシー事業については、大隅町地区に12路線を新設、料金を200円に設定し12月中からの運行予定で、また末吉町地区は、これまでの路線を継続し、12月1日から300円を200円に料金改定します。一部路線延長と南之郷線については、平成19年4月1日から代替バスを乗合タクシーへの移行予定であります。財部町地区においてのふれあいバスは、平成19年4月1日からの料金徴収計画について、これまで無料バスとして定着していることから、段階的措置を設けてから全市統一化を計るべきと多数の意見がありました。



財部町で親しまれているふれあいバス

また、コミュニティバス計画に対しての意見や乗合タクシー事業者発注方法等に意見が出され、曾於市交通対策事業の導入について、議員発議により決議として以下の意見が出され、決議されました。

- 1、乗合タクシー事業及びコミュニティバスの入札にあたっては、地元業者育成のため重複契約にならないように対応されたい。
- 2、旧財部町のふれあいバスは、1年間は料金を特別経過措置として100円、2年目から全市統一すること。
- 3、コミュニティバスの運行・料金等を含め、再検討すべきである。